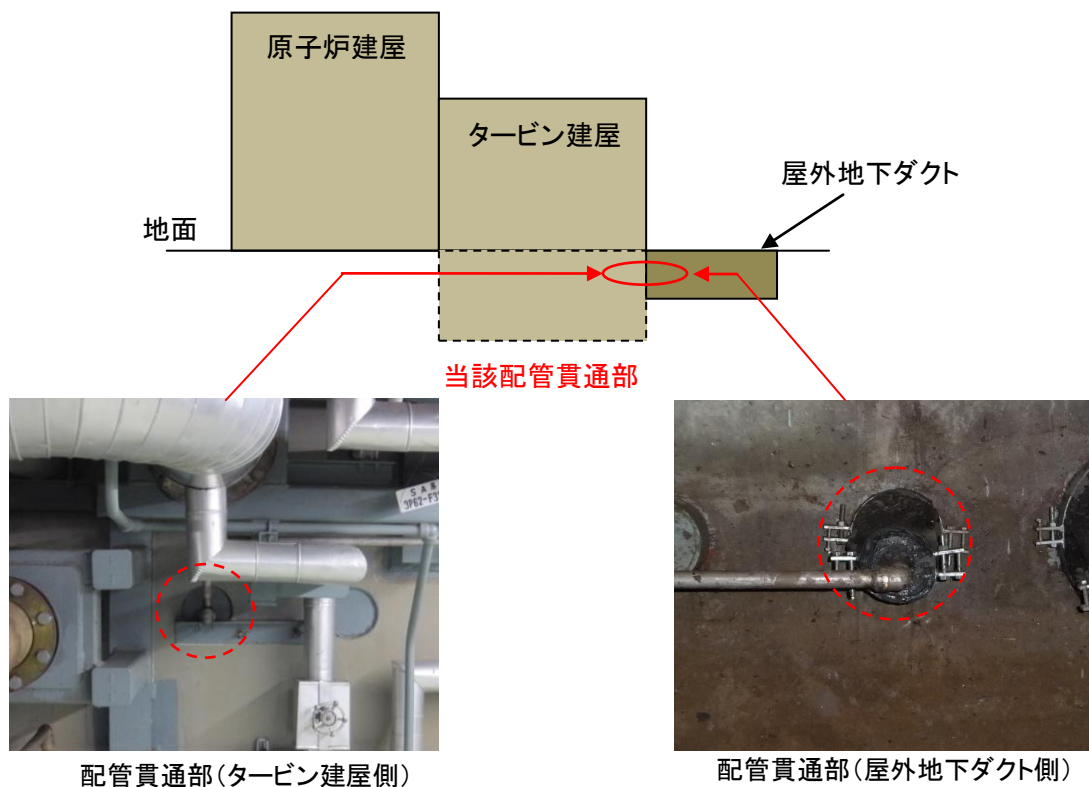


浜岡原子力発電所 3号機 タービン建屋内への雨水の浸入について

2014年10月6日

発生場所	3号機(施設定期検査中) タービン建屋 地下1階(放射線管理区域内)
発生年月日	2014年10月6日
発生時の状況	午前9時23分、協力会社社員が3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見しました。 ただちに当社社員が現場確認をおこない、この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものであると推定しました。 また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認しました。 建屋内に入り込んだ水は、建屋内の廃液処理系へ収集します。 雨水の浸入経路と考えられる配管貫通部については、適切に処置します。 本事象は放射性物質の放出にかかわる事象ではありません。
お知らせ基準	本情報は、運転情報「表 2-12 建屋内において、雨水等の浸入を発見したとき。(但し、100 リットル程度に至らない浸入を除く。)」に該当します。



浜岡原子力発電所 3号機 断面図(イメージ)

以上